

地下鉄車両内監視カメラ（中国上海市）

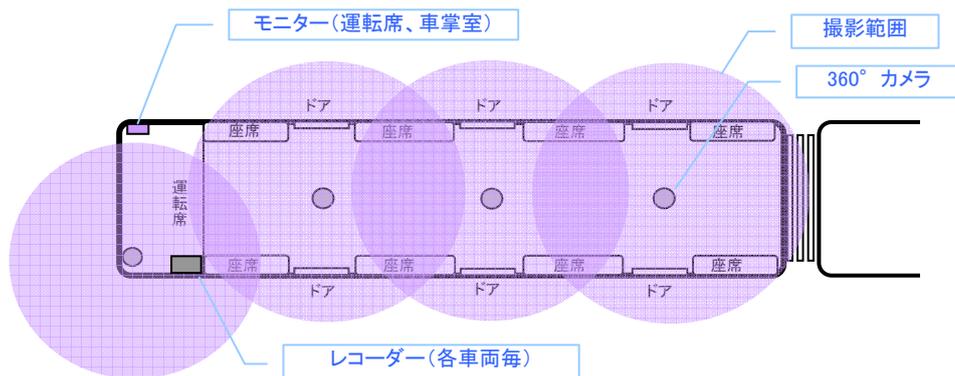


◆ 導入のきっかけ

- 北京オリンピック（2008年）と上海万博（2010年）の会場へ乗り入れられる地下鉄路線で、車両内の治安維持のために監視カメラを設置することになったが、**台数を多くすることなく死角のない監視**をしたかったため、360度カメラが選ばれた。
- 各車両毎の閉じたループでの監視と記録だったので、ネットワークカメラは必要なかった。



運転席と車掌室のモニター



◆ 360度カメラの設置状況

- **レンズ部だけ天井下へ露出**（天井裏の空間スペースは47mmしかない）
- 1車両3基、両側のドアを含む通路を撮影エリアとし、**死角なく4分割して表示**。



◆ 導入の効果

- 地下鉄公団が要求する機器仕様は弊社製品そのものであり、上海地下鉄16路線中8路線で合計9500基が導入されています。（2012年11月現在）
- 2008年7月以来4年以上経過していますが、**故障事例が1件もありません**。小型軽量ですので、電車の**振動や衝撃に強い**ことの証です。
- 他社360度カメラがネットワーク機能しか備えていないのに対して、従来の**アナログシステムでも使える**ことの利便性が評価されています。
- **少ない台数で死角なく**車両内全域を見渡せるため、痴漢・スリ・暴徒などの追跡で検挙実績を上げています。
- 天井下や壁からのデッパリがなく、車両内の**美観を損ないません**。